

加西市議会だより

No.179

こども狂言塾最終公演

新作狂言「根日女」を熱演



2024

5

写真撮影：栄光社

令和6年度予算を可決 (P2～3)

- 3月定例会
- 議案審議レポート (P4～6)
 - 議決結果 (P7)
 - 一般質問 (P8～13)

- 参加者募集!
- ▶ 第1期「加西こども議会」議員 (P15)
 - ▶ 市民との意見交換会 (P16)

令和 6 年度予算を可決

3月定例会では、一般会計（259億円）、国民健康保険・介護保険などの特別会計、上下水道・病院の企業会計を含む、総額483億4,755万2,000円の令和6年度予算案が提案されました。

一般会計は、予算決算常任委員会（全体会・総務分科会・建設経済厚生分科会）、特別会計と企業会計は総務常任委員会及び建設経済厚生常任委員会において、4日間にわたり慎重審議を行い、原案のとおり可決しました。

前年度比 5.6%増 過去最大の 259 億円

議案第 25 号 令和 6 年度加西市一般会計
予算について

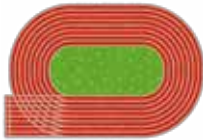
質 疑

総合運動公園基本構想・基本計画

3,300 万円

問 総合運動公園の規模は。

答 陸上競技場は 400 mトラックが 7～8 レーン、体育館はバレーボールコートとバスケットボールコート各 3 面程度を想定し、近接して設置したいと考えています。基本構想策定において再度市民アンケートを実施し、どの程度の規模が必要となるのか確認していきます。



問 整備スケジュールについて。

答 令和 6 年度に基本構想・基本計画を策定し、選定場所の測量を行います。陸上競技場は令和 7 年度に基本設計、8 年度に実施設計、10 年度以降に工事着工の予定です。また、総合体育館は令和 8 年度に基本設計、9 年度に実施設計、11 年度に工事着工を予定しています。

泉統合小学校整備事業

3,600 万円

問 (仮) 泉統合小学校の整備に当たり、現在の泉小学校の改修工事の内容は。

答 泉小学校の屋根と外壁、教室の床の修繕に加え、給食棟を解体し、教室を 3 部屋程度増築予定です。

北条鉄道設備等整備費補助

3,300 万円

問 補助内容と目的は。

答 利用者の利便性向上を目指して、ICOCA システムを導入します。令和 6～7 年度にシステム整備を行い、令和 8 年 1 月初旬からの運用を予定しています。JR 加古川線や神戸電鉄との乗り換えがスムーズになるだけでなく、飲食店等でキャッシュレス決済も可能となります。



こども家庭センター運営事業

968 万 8,000 円

問 こども家庭センター設置へ向けた事業費の内容は。

答 こども家庭センターは当面、分離型で設置運営します。妊娠届から妊産婦支援、子育てや子供に関する相談を受け、サポートプランを作成して支援をつないでいきます。プラン作成のためのシステム改修を行います。

庁舎増築工事实施設計

7,500 万円

問 市役所裏に庁舎を増築し、こども家庭センターと防災センター機能を整備とあるが、場所の選定理由は。また、市民などから意見を聞かれたのか。

答 (副市長) 市役所全体の組織の効率化や市民の利便性向上を考え、現庁舎に隣接する敷地内に附属棟を建設し、業務の一元化を図ることが最適と考えています。あくまで基礎的な行政事務を行う施設として、行政部局が中心となって場所を選定しています。施設の機能やレイアウト等については、利用者の意見を反映していきたいと考えます。

問 基本構想と基本設計について。

答 増築庁舎のこども家庭センターは、建設場所や施設の目的、建物規模が明確で、部屋の種類や配置などは利用者の声を聞いている担当職員が最も把握していることから、各担当課が集まり施設の内容を協議検討しています。これにより基本構想と基本設計となる資料を準備し、実施設計となる基本図面を建設部局で作成しています。



増築庁舎の建設が予定されている市役所裏

带状疱疹ワクチン接種費用助成

300 万円

問 ワクチン接種費用助成の内容は。

答 50 歳以上を助成対象とし、ワクチン接種費用の 2 分の 1 を助成します。助成の上限は、1 回接種の乾燥弱毒生水痘ワクチンで 4,000 円、2 回接種の乾燥組換え带状疱疹ワクチンで 1 回当たり 1 万円の計 2 万円です。



情報伝達システム利用促進

5,000 万円

問 どのように利用促進を図るのか。

答 令和 6 年度に運用を開始する加西市情報伝達システム「かさいライフナビ」は、防災・防犯情報や市広報などを配信します。スマホアプリを登録された市民を対象に、ねっぴ〜 Pay ポイントを付与することにより、広く市民の利用を促進したいと考えています。1 人 2,000 ポイント、2 万 5,000 人の利用を見込んでいます。



生活道路整備補助金

500 万円

問 申請から補助金支給までの流れや補助内容は。

答 自治会は工事見積書などを添付して市に申請し、審査、決定の後、工事業者に委託して工事を行います。完了後は契約書や領収書の写しなどを合わせて市に実績報告し、補助金額確定の後、補助金を請求する流れとなります。補助金は 200 万円を上限とし、工事業者へ支払った費用の 3 分の 2 が支給されます。申請状況や予算を鑑み、補正も視野に事業展開をしたいと考えます。

常勤医が 7 名減少 4 月から 28 名に

議案第 33 号 令和 6 年度加西市病院事業
会計予算について

質 疑

問 医師が 7 名減少することによる影響は。

答 令和 6 年度予算を作成した後に医師の減少が判明したことから、予算どおりの収入確保は難しい状況です。入院は常勤医が診察する関係上、大きな影響が出る可能性があります。一方、外来は神戸大学や近隣病院から医師の応援を受けており、1 週当たりの枠数は、内科 1、外科 4、泌尿器科 4、産婦人科 1 の減少となります。なお、365 日 24 時間の救急体制は継続します。

問 経営方式の変更の可能性はあるのか。

※ 以上のような質疑の後、本会議最終日に修正案が提出されました。

(修正案の内容)

庁舎増築の設計委託料 7,500 万円を減額するもの。

(修正の理由)

- ・庁舎増築は 12 月議会で予算を削除し、子育て世代や関係者の意見を聞いて考えるよう要望したが、その取組がなく、同じ内容で提案されている。
- ・デジタル化や人口減少を見据え、増築ではなく、業務の見直しや庁舎内の整理等の改善策を検討すべきである。
など

討 論

原案に賛成・修正案に反対

- ・市民の利便性を考慮し、庁舎と福祉会館にある部署の機能を一体化して窓口を一元化することにより、事務の効率化を図るべきと考え、庁舎増築に賛成する。(本会議)
- ・庁舎増築は、市民サービスの向上を図り、また、職員の労働環境や効率的な業務の遂行に必要と考える。また、防災センター設置も重要である。(本会議)

原案に反対・修正案に賛成

- ・市民や利用する方々の声を聞かずに、進めるべきではない。場所や費用の検討がまだまだ不十分である。利用者の利便性を検討する上でも市民の意見を聞き、市民に寄り添うべきである。(本会議)
- ・少子高齢化、人口減少を迎えていく中で、大型事業に対しては慎重かつ適正に選択していかなければならない。(本会議)

議決結果

修正案：賛成 6、反対 8 の賛成少数で否決

原 案：賛成 8、反対 6 の賛成多数で可決

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



議案審議レポート

※ 議案は、本会議での質疑の後、所管の常任委員会に付託して慎重に審議しました。
主な議案と審議の経過について紹介します。

空き家等の適正な管理を

議案第 3号 加西市空き家等の適正管理に関する条例の制定について

概要 良好な生活環境の保全と安全・安心なまちづくりのため、空き家等の適正な管理に関し必要な事項を定める。

- ・管理不全空き家の所有者に対し、特定空き等にならないように指導及び勧告することができる。
- ・特定空き等の所有者に対し、必要な措置を取るよう助言、指導、勧告ができるよう定め、勧告後の命令を経て行政代執行を可能とする。また、所有者等が不明な場合も略式代執行を可能とする。

質疑

問 空き家が増えている原因は。

答 原因の一つとして、空き家を解体して更地にする
と土地の固定資産税が高くなるため、解体撤去が
進まないと言われていますが、空き家の相談やアンケー
トの結果では、解体やリフォームの資金不足や相続問題、
立地条件により利活用や売却が困難、また愛着があつて
潰したくないなど、様々な原因が存在しています。

問 行政代執行を行う基準や費用負担について。

答 特定空き等のうち、台風等で瓦が飛散し、けがや事
故など人的被害につながるような物件で、市道や
通学路に面していたり隣家に倒れかかっているようなも
のを率先して対応したいと考えます。費用は市の負担と
なりますが、財産管理人の選任や、執行後の不動産や動
産の売却など様々な策を講じ、経費の回収に努めます。

討論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



新中学校建設の ための基金を設置

議案第 8号 加西市学校教育施設整備基金
条例の制定について

概要 今後の小中学校再編整備に当たり、中学校施設
の新設事業等、多額の事業費を要することから、計画
的かつ確実な実施に必要な財源を確保し、当該費用に
充当できるよう基金を設置する。

質疑

問 基金は新統合中学校建設だけを目的として設置さ
れるのか。

答 令和 10 年開校予定の新統合中学校の建設のために
設置することとしていますが、今後の学校再編に
おいて、統合等により新規の校舍建設等が生じる場合は、
この基金を活用していくことも考えられます。

問 基金の積立額、原資は。

答 新統合中学校建設に係る事業費が 50 億円以上にな
ると想定し、その 3 割が一般財源負担になると見
込んで 15 億円の積立てを予定しています。ふるさと納
税とふるさと応援基金を充てます。

討論

賛成

・将来的な人口予測から統廃合は避けて通れないもので
あり、再編整備には多額の事業費を要するため、計画的
で確実な実施に必要な財源を確保し、当該費用に充当で
きるよう、基金設置に賛成する。(総務常任委員会)

議決結果

全会一致で原案可決



市民養老金を増額 100歳には5万円支給

概要 長寿の祝いとして支給している市民養老金について、近隣市と同水準にまで増額する。

	現行	改正後
満88歳	5,000円	10,000円
満100歳	10,000円	50,000円

令和6年度に限り、令和6年4月1日現在で加西市内に住所を有する満101歳以上の者に30,000円を支給。

質疑

問 市民養老金のこれまでの経過について。

答 平成9年度までは80歳以上85歳未満の方に2,000円、85歳以上の方に3,000円を支給していました。平成10年度に制度改正し、17年度までは88歳と90歳に各5,000円、99歳と100歳に各1万円を支給していました。しかし、高齢化社会を迎え、介護保険制度や介護予防事業など、要援護高齢者の施策へ重点を移していく必要があり、年々増加している支給対象者を縮小する理由から、平成18年度には88歳に5,000円、100歳に1万円を支給するよう改正し、現在に至っています。

議案第12号 市民養老金支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 制度改正された理由について。

答 令和5年度の北播4市の支給額は、西脇市は88歳に1万円、99歳に2万円、三木市は88歳に1万円、100歳に5万円、小野市は100歳に5万円、105歳に10万円、加東市は88歳に1万円、99歳方に2万円、100歳に3万5,000円となっています。加西市は近隣市と比較して低い水準であったことから、同水準としつつも、要援護高齢者の施策を一層充実させることも考慮した上で、満88歳の方に1万円、満100歳の方に5万円と、支給金額を増額することとしました。

討論

賛成

・長い間支給額が据え置かれ、また近隣市と比較してあまりにも少ない額に恥ずかしい思いでした。多くの長寿の方が元気に暮らされていることこそ、加西市の誇りにしたい。今後は、105歳の方にも感謝の気持ちを込めた祝い金等を支給できるよう考え、賛成する。(本会議)

議決結果

全会一致で原案可決

高齢者の安心ある暮らしと 適正な介護保険事業の実現

概要 令和6年度から令和8年度の3年間の高齢者福祉や介護保険事業について計画を策定する。第8期計画の終了に伴い、その取組をさらに進め、地域における高齢者支援を目的とする地域包括ケアシステムの仕組みを活用し、地域共生社会の実現へとつながるよう、高齢者人口やサービスなどのニーズを中長期的に見据えた内容とする。

質疑

問 医療・介護連携パスの取組について。

答 医療・介護連携パスは、入院患者の医療内容や退院後の治療方針等を明記し、医療提供病院と退院後のかかりつけ医やサービス提供者が、同じ情報に基づき安全で質の高いサービスを提供し、円滑に在宅医療へ移行するために行うもので、市内では加西病院を中心に実施されています。60%以上の方が終末期の療養場所として自宅を望み、要介護状態になっても自宅や親族の介護を希望する人も60%を超える調査結果もあり、在宅医

議案第17号 加西市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定について

療・介護のニーズはますます高まることが予想されます。医療・介護連携パスを一層周知し、円滑に在宅医療へ移行できるよう、環境整備をさらに進めます。

問 施設サービスの状況について。

答 市内には介護老人福祉施設が3か所、介護老人保健施設が2か所あり、入所の枠はある程度確保できている状況です。施設整備は県の指定となっているため、北播磨圏域内でのどの程度整備されるかによって影響します。利用者の施設要望の動向を見ながら、どのように整備するかを検討していきます。

討論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



地域生活を支える サービスのさらなる充実

議案第 35 号 第 7 期加西市障害福祉計画・
第 3 期加西市障害児福祉計画
の策定について

概要 令和 3 年度から令和 5 年度の 3 年間を期間とする第 6 期障害福祉計画・第 2 期障害児福祉計画の終了に伴い、計画の実施状況や、国の基本方針及び県の方針などを踏まえ、令和 6 年度から令和 8 年度の 3 年間の計画を策定する。

質 疑

問 単独型短期入所施設の利用を促進する市の責務は。

答 加西市では、障がいの重度化や高齢化、親亡き後を見据え、障がい者が地域で自分らしく継続した生活を維持するため、地域生活支援拠点を整備してきました。このことについて、単独型短期入所施設の整備をもって完了したと判断し、今後は適切な運営とさらなる充実、改善を図っていきたいと考えます。施設運営は、

地域の方にも理解を深めていただくことが双方にとっての安心につながると考えますので、説明の機会を持つなど積極的に対応するよう努めます。

問 計画策定に当たって工夫された点について。

答 障がいや発達に遅れのある子供の保護者によるワークショップを 2 回開催し、その意見を計画に反映しています。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



災害対策や脱炭素事業 の減額補正など

議案第 18 号 令和 5 年度加西市一般会計補
正予算（第 10 号）について

質 疑

法人市民税

8,000 万円の減

問 中小企業の経営状況は。

答 法人市民税の法人税割は、人件費や物価高騰の影響から減少していますが、均等割額は、令和 4 年度と同水準です。また法人異動届から見る限り、中小企業の企業閉鎖等はそれほど多くないと認識しています。

都市親善費

514 万 5,000 円の減

問 減額の理由、今後の姉妹都市提携の方向性は。

答 プルマン市の市長が本年 1 月に就任され、新体制での交流事業について協議が整わず、交流事業の実施を見送りました。新市長の方針、訪問団の現地受入体制などを協議して今後の在り方を検討します。

災害対策費

1 億 7,600 万円の減

問 事業内容と減額理由は。

答 加西市情報伝達システムの委託と自家発電設備等の整備事業です。コスト削減を見込み、災害対策本部を兼ね備えた整備に変更したこと、コミュニティ無線整備工事の入札額確定により減額するものです。

私立認定こども園への給付事業

7,352 万 3,000 円の減

問 私立保育所等給付費交付金、保育補助者雇上強化事業補助金の減額理由は。

答 令和 5 年 4 月に小規模保育所が 2 園開園しましたが、年度途中までは入所者数が少なかったこと、私立保育所から補助事業の希望がなかったことによるものです。

脱炭素先行地域づくり事業

1 億 6,770 万 6,000 円の減

問 事業内容と減額理由は。

答 地域エネルギー会社設立のための関係機関との合意形成、協議が整わなかったため、電気自動車の急速充電機設置の工事請負費、及び脱炭素先行地域づくり事業補助金を減額するものです。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



第 308 回 令和 6 年 3 月定例会 議決結果一覧

賛否の分かれた議案（採決順に掲載）

○…賛成 ×…反対

議案	大前裕也	北川克則	西脇親	高橋佐代子	下江一将	橋本真由美	深田照明	高見博道	土本昌幸	田井真一	佐伯欣子	森元清蔵	森田博美	丸岡弘満	中右憲利	議決結果
議案第 25 号 修正案 令和 6 年度加西市一般会計予算に対する修正動議	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	議長	○	修正案否決 (賛 6、反 8)
議案第 25 号 令和 6 年度加西市一般会計予算について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	議長	×	原案可決 (賛 8、反 6)

全会一致で同意、可決した議案

- 議案第 2 号 農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第 3 号 加西市空家等の適正管理に関する条例の制定について
- 議案第 4 号 加西市立地区集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 5 号 地方自治法等の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 議案第 6 号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 7 号 加西市職員等旅費条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 8 号 加西市学校教育施設整備基金条例の制定について
- 議案第 9 号 加西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 10 号 加西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 11 号 加西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 12 号 市民養老金支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 13 号 加西市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 14 号 加西市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 15 号 加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 16 号 兵庫県市町村職員退職手当組合理約の一部変更について
- 議案第 17 号 加西市高齢者福祉計画・第 9 期介護保険事業計画の策定について
- 議案第 18 号 令和 5 年度加西市一般会計補正予算（第 10 号）について
- 議案第 19 号 令和 5 年度加西市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）について
- 議案第 20 号 令和 5 年度加西市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）について
- 議案第 21 号 令和 5 年度加西市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）について
- 議案第 22 号 令和 5 年度加西市産業団地整備事業特別会計補正予算（第 1 号）について
- 議案第 23 号 令和 5 年度加西市水道事業会計補正予算（第 3 号）について
- 議案第 24 号 令和 5 年度加西市下水道事業会計補正予算（第 1 号）について
- 議案第 26 号 令和 6 年度加西市国民健康保険特別会計予算について
- 議案第 27 号 令和 6 年度加西市介護保険特別会計予算について
- 議案第 28 号 令和 6 年度加西市後期高齢者医療特別会計予算について
- 議案第 29 号 令和 6 年度加西市公園墓地整備事業特別会計予算について
- 議案第 30 号 令和 6 年度加西市産業団地整備事業特別会計予算について
- 議案第 31 号 令和 6 年度加西市水道事業会計予算について
- 議案第 32 号 令和 6 年度加西市下水道事業会計予算について
- 議案第 33 号 令和 6 年度加西市病院事業会計予算について
- 議案第 34 号 加西市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 35 号 第 7 期加西市障害福祉計画・第 3 期加西市障害児福祉計画の策定について

3月6日～7日の本会議では、12名の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。(発言順に掲載)
※ QRコードを読み取ると、録画映像をご覧いただくことができます。



田井 真一 議員
(改革未来・自民の風)



大型事業と財政運営 / 加西病院の将来のすがた

健全な財政運営は可能か

問 数々の大型事業を計画されているが、財政運営は大丈夫か。

答 (市長) 庁舎附属棟、統合中学校、総合運動公園の整備などの大型事業に伴う費用を見込んで策定した財政収支見通しによれば、今後10年間は健全な財政運営ができると考えています。財政需要の動向等を見据えながら、その都度見直しを行います。

医療体制はようになるのか

問 令和6年度の医療体制は。医師が減少する中、外科手術はできるのか。入院診療はさらに縮小するのでは。

答 内科は2名減の8名、外科は1名減の1名、泌尿器科は1名減のゼロ、初期研修医は3名減の5名、計7名の減となります。将来のダウンサイジングを前提とした医師の減少であり、近隣の医療機関との連携を図り、できる範囲で医療を提供することとなります。

救急医療は維持できるのか

問 24時間365日の救急医療体制は堅持できるのか。

答 (病院事業管理者) 休日・夜間の救急体制は、神戸大学の内科医が半分を占めており、今後も派遣してもらえらることとなっ

ています。内科の初期救急は、24時間体制が可能と考えています。

公営のためには

問 今後、在宅医療を支える地域包括ケア病床は大変重要となってくるが、それだけでは公営の意義に乏しい。市長は全部適用で運営する方針を出されており、「加西病院の強み・特色」が必要では。

答 (病院事業管理者) 地域医療構想では、当院は亜急性期、回復期を中心に担うこととなっており、民間による運営も可能と思われます。「優しい病院」「帰ってきたくる病院」を目指したいと思っています。

■その他の質問項目

- ・災害に強いまちづくりについて
- ・小中学校再編について



高橋 佐代子 議員
(改革未来・自民の風)



高齢者施策の充実について

問 「かさいいいきき体操」は、ご当地体操として立ち上げて7年目になり、スペシャルバージョンのDVD作成など意気込みは見えるが、市内で63グループの実施では寂しく感じる。各グループからアンケートを取り、意見や要望を聞いていただきたい。また、より広める提案として、毎週、イオンモールでのラジオ体操の後、イオンの協力で、買い物客も一緒に体操されてはどうか。また、市の4公民館の講座の1コマに入れてもらい、参加者に広めてもらうことを提案したい。

答 未実施の町は、どのような体操なのか分からない不安もあるため、様々な機会に体操に触れていただくことは非常によい提案と考えます。

問 加齢とともに、体の健康のために口の機能を保つことは大切であり、口腔内を清潔にしなければならない。歯周病が様々な疾患に及ぼす影響も報告されている。兵庫県では令和4年4月に「歯及び口腔の健康づくり推進条例」が制定されている。この取組に対する市の現状を伺いたい。

答 市においても口腔ケアの重要性を認識し、通いの場への出前講座や歯科衛生士による講話を開催しています。令和6年度は口腔ケアの普及啓発を実施したいと考えます。

問 高齢者の単身世帯や老老介護、8050など、高齢者の抱える課題は複雑かつ多様化している。長寿介護課への相談の現状は。

答 高齢者の状況を伺う中で、8050などひきこもりの相談を伺うことが増えています。また、高齢者の独居や二人暮らしなど、家族の支援を受けられないケースも増えている状況です。

要望

複雑な課題を抱える家庭への支援では、担当者だけで解決できない場合も多いと考える。管理職として会計年度職員などに任せることなく「卒先垂範」の精神で市民対応に頑張っていただきたい。

■その他の質問項目

- ・ごみ減量の取り組みについて
- ・防災放送の整備について



西脇 親 議員
(改革未来・自民の風)

ヒト・モノの有効活用で地域活性化を②



問 全国のため池百選に選出されている長倉池には、希少な動植物が生息している。地域の誇れる資源であるため池の保全について、どのように取り組まれているのか。

答 生物多様性を支える上で極めて重要な役割を果たしていると考えています。加西の重要な生態系 48 においても、指定される 48 か所の 6 割、30 か所がため池となっています。今後ため池の重要な自然環境、生態系を守っていくために継続的に生態調

査を行い、その状況をモニタリングしていきたいと考えています。

問 地域が主体となって取り組む歴史・文化・資源の継承や保存に対する市の協力、支援の内容は。

答 令和 2 年に加西市文化財保存活用地域計画を策定し、保存と活用の現状を踏まえて歴史文化遺産の諸課題を整理しています。地域と連携協力して保存活用に取り組むこととしていますが、市としては、市民や団体と連携しながら、助言等の技術的な支援、あるいは資金面などの財政的な支援など、多面的に支援します。

問 沿線を菜の花や桜で彩るいすみ鉄道、観光に特化した嵯峨野観光鉄道など、業績を伸ばしている鉄道がある。北条鉄道に

乗らないと見ることができない風景、車窓から桜並木を見ることができるよう、沿線に桜や紅葉を植樹してはどうか。

答 (市長) 北条鉄道の経営数値も重要ですが、魅力ある会社にて育てていく、魅力ある北条鉄道をつくっていくことは従業員の確保にもつながります。ますます愛される鉄道にするため、様々なイベントを行い、魅力を高めますが、実現できるものはやっていきたい。多方面で愛される北条鉄道をつくっていくことが今後の発展につながると思いますので、ぜひ検討したいと考えます。

■その他の質問項目

- ・ 加古川西部土地改良区について
- ・ 障がい者福祉について



深田 照明 議員
(清流会・かさいを育む会)

住宅・上下水道管路などの耐震化の現状は



問 住宅の新耐震基準とは。

答 昭和 56 年 6 月 1 日に新耐震基準が施行され、震度 5 程度の中規模地震では建物が損傷せず、震度 6 から 7 程度の大規模地震でも建物が倒壊・崩壊しないことを基準としています。

問 加西市耐震改修促進計画の目標と耐震化率は。

答 平成 25 年度調査では、住宅総数 1 万 4,600 戸のうち耐震性のある住宅は 1 万 1,272 戸、耐震化率は 77.2%でした。平成 29 年 10 月に計画を改定し、令和

7 年度までに耐震化率を 97%にすることを目標に、耐震化支援施策やその普及啓発に努めています。

問 耐震化支援施策の内容は。

答 簡易耐震診断として旧耐震基準の木造住宅を対象に、市が耐震診断員を無料で派遣し、調査・診断を行います。「やや危険」、「危険」と診断された方には、耐震補強改修や建て替え、解体・撤去工事費などを補助します。

問 上下水道施設の耐用年数と耐震設備基準は。

答 水道施設の耐用年数は、配水池やポンプ場施設、水道管路施設は 40～60 年、機械・電気設備は 10～15 年です。また、下水道管路施設は 50 年となっています。耐震設備基準は、ポンプ場や処理場など重要施設は震度 7 程度でも稼働できる構造、それ以

外の施設は震度 5 程度の地震でも稼働できる構造とされています。

問 上下水道管路の耐震化は。

答 水道管路の約 6.2%が耐震管路です。耐震性の低い管路 15.8 キロメートルの更新事業を実施しており、完成後の耐震化率は 9.5%となる予定です。管路更新計画を見直しながら計画的な耐震化工事を進めます。一方、下水道管路は、約 65%が耐震性の高い管路となっており、今後、下水道事業の経営状況を考慮した更新・耐震化計画を策定し、更新事業を進めて耐震化を図ります。

■その他の質問項目

- ・ 国道 372 号線バイパス道路の整備状況
- ・ 庁舎附属棟建設の意義と目的



障がい福祉について



中右 憲利 議員
(令和新風加西)

問 親亡き後、障がいのある子供が不自由なく暮らせる支援について。

答 令和5年度には緊急時短期入所空床確保事業を実施しましたが、事前登録者は72名を超え、実際に4名が利用されました。また、市内に20部屋のグループホームが完成するとともに、親元を離れて宿泊体験ができる単独型短期入所施設の整備も進行中です。今後も障がい者、養護者の不安解消のための施策を推進していきます。

問 医療費助成は、精神障がい者が3級まで無料、一方身体障がい者は2級までとなっているがその差について。

答 現在の重度障害者等医療費助成制度は、精神障がいは県制度の1級に加え、2級、3級を市単独の助成対象としています。一方、身体障がいは県制度と同じ1級、2級までとなっています。今後は知的障がいも併せ、財政状況も勘案して制度拡充の方向性を検討したいと考えます。

問 障がい者の就労支援について。

答 就労支援連絡会において2か月に1度協議しています。令和5年度は農福連携について協議し、11月より市内の農業法人での受入れが整い、就労支援B型事業所が週2回施設外就労をして

います。今後も農業の労働者不足と福祉の就労先開拓のマッチングを進め、さらなる農福連携を推進していきます。

問 現在実施していない5歳児健診の今後の方針について。

答 現在の体制で不十分な点について医師会にも意見を仰いで検討を重ね、5歳児健診の実施についても検討し、就学までの切れ目ない支援体制を整えます。

問 福祉会館の児童療育室ひまわりルームの事業継承について。

答 事業委託していたNPO法人の解散方針により、市直営で療育事業を行う方向で進めています。北部キッズを福祉会館に移転し、名称をねひめキッズとして、従来の子育てひろば事業と療育事業を併せて実施する方針です。



市民の望む未来づくり



橋本 真由美 議員
(清流会・かさい育む会)

庁舎附属棟建設に関して

問 市民に広く意見を聞く必要性は低いと言われたが、市民の声は聞かないのか。

答 (副市長) 市役所組織の効率化や市民の利便性を考慮し、市役所業務を行う執務室の確保が庁舎増築の一番の目的と考えます。今後、実施設計を進める中で、市民の意見を聞く機会や説明する機会も設けたいと考えます。

問 12月議会で出された意見を踏まえ、建設場所の検討をされたのか。再度、同じ場所を選んだ理由は。

答 本庁舎と迅速かつ容易に連携を図ることができる場所であることが重要と考えます。行政サービスをワンストップで提供できることは職員の仕事のしやすさ、ひいては利用者の利便性の向上にもつながるため、本庁舎との併設が望ましいと考えています。

学校再編について

問 小規模校を望まれる方への対応は。

答 再編に当たっては少人数学級や少人数授業の工夫など、加西市独自の対応により可能な形で実現していきたいと考えます。

人口減少対策について

問 若者流出の原因を把握することが必要ではないか。

答 第6次加西市総合計画の策定に当たって実施した中高生アンケートでは、中学生345名、高校生256名から今後のまちづく

りに向けた意見などを聞いています。高校生では市外に転出したいと考える傾向が高い結果となりました。市が力を入れるべきこととして、店を増やしてにぎわいのあるまちにする、公共交通の充実、医療や福祉の充実、自然を守るといった意見が多くありました。

問 どのような方法で市民の意見を聞いているのか。

答 市長への手紙やタウンミーティング、各種団体との意見交換等で意見を伺っています。

問 タウンミーティングは多世代が集まっているとは言い難い。若者たちが意見を言える環境づくりについての考えは。

答 令和6年度は、第6次総合計画の後期計画策定に取りかかります。策定に当たり中高生の意見を聞き、計画にも反映したいと考えます。

学校再編『教育の中身』と『学校跡地』は？



北川 克則 議員
(令和新風加西)

問 加西の教育3本の矢「加西BASE」、「加西STEAM」、「加西GLOBAL」とは。

答 (教育長) 加西の教育ビジョンですが、加西BASEは子供たちの学習基盤を構築するもので、学習環境の充実、基礎基本の定着、人間力の育成が3つの柱です。学習環境の充実は、少人数授業や複数担任制による手厚い見守りと学習体制の構築、併せて今必要とされるハード面での充実を図りたいと考えます。基礎基本の定着は、単なる知識だけではなく、技能、思考力、判断力、表現力、

そして学びに向かう人間性という総合的な力を育成します。人間力の育成は、人間力の基盤となる非認知能力、そして感性などを高めたいと考えます。

加西STEAMは、各学校の実態とこれまでの取組を生かし、学校の特色づくりとして進めます。加えて、子供たちが感動したり心を動かしたりする体験をさせていきたいと考えます。世界的指揮者の西本智実さんを招いた音楽指導での、子供たちの変化や成長は目をみはるものがあり、何かの形で継続したいと考えています。

最後に、加西GLOBALは、地域や国境を越えて活躍するグローバル人材の育成を目指します。柱は、英語のコミュニケーション能力の向上と国際交流です。外国語教育アドバイザーの採用、小中一貫した英語学習プログラムの開発、フォニックスという英語圏の子供

たちが英語を習うときに学ぶ手法の導入、イングリッシュキャンプの開催、ALTとの一対一の英会話トレーニングなどにより英語力を高めます。国際交流では、時差の少ないオーストラリア等の学校とホームステイを含む海外研修、オンライン会話などを実現させたいと考えます。

問 学校跡地の活用について。

答 (副市長) 貴重な財産を、地域の実情やニーズを踏まえて積極的に有効活用していく計画としています。5月のタウンミーティングにおいて、活用のイメージ図を用いて提案し、地域の声を聞きたいと考えています。

要望 西在田小学校及び日吉小学校の屋外トイレに、大人用温水便座を整備していただきたい。

少子化対策について、高橋市長に問う



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 少子化対策の目標設定について、どのようにお考えか。

答 合計特殊出生率の上昇を目標にしたいと考えています。直近では、令和4年度1.11、令和5年度1.12と、若干ですが上昇しています。令和7年度は1.83、そして、総合計画では令和12年度に2.10を目標にしています。

問 加西市は、5つの無料化をはじめ、子育て世帯に対する様々な支援施策はできていると思う。合計特殊出生率の上昇という目標を達成するには、加西病院

の産科も関係してくるが、市長の考えをお聞きしたい。

答 (市長) 出生数が少ないことについては、一丁目一番地である産科がないことが非常に大きな要因です。産科医の確保は困難を極めますが、新病院建設の際には産科の開業医を誘致するという構想を持っています。

また、人口の減少は全国的な問題であり、歯止めをかけることは非常に難しいと考えます。加西市の特徴として、市外から通勤されている方が1万1,000人以上あります。その1割でも5%でも加西市に転入していただきたいと考えていますが、住宅や教育が非常に大きな要素となると聞いています。

5つの無料化については財政運営に支障のない限り、継続していく必要もあるのではないかと

考えています。

加西市を選んでいただくためには、市の魅力が蓄積されるような施策が必要だと思っています。総合的に魅力を高めて加西市を選んでいただき、人口減少に歯止めをかけて現状維持ができるようにしたいと考えています。

意見 人口減少、少子化対策は、加西市民の交通手段の問題、そして小中学校の統廃合、北条高校の学級減、加西病院の産科の問題、また高齢者対策など、様々な問題の根源ではないかと思っています。出生率をどのように上げていくかということが大変重要ではないかと私も思います。

■その他の質問項目

- ・ 加西インター産業団地と周辺について
- ・ 加西市の公共交通対策について



大前 裕也 議員
(加西維新の会)

下里地区にスーパーマーケットの誘致を



問 下里地区のまちづくりの方向性について。

答 農業集落と北条鉄道が走る、ふるさと感じる風景を守りつつ、姫路市や加古川市に近い優位性を生かし、規制緩和により産業を活性化させて市外からの通勤者を増やすとともに、空き家の活用を含めて移住・定住を促進し、地域の持続可能性につなげたいと考えます。

問 まちづくりの実現に向けた課題は。

答 市内共通の課題は、都市計画と農地における過度の土地利用規制です。下里地区では、2町で地区計画を定めるなど、市内でもより積極的な土地利用の規制緩和を行っています。区域区分の廃止により、県内でも規制緩和の先駆けとなるようなまちづくりを進めたいと考えています。

問 下里地区の食品スーパー跡地について、地元では以前のようにスーパーができることを希望されている。市の考えは。

答 下里地区から要望を受けている食品スーパー跡地における再誘致について、市街化調整区域であるため店舗の建築ができないことから、令和4年10月に西笠原町地区地区計画を決定し、土地利用規制を緩和することにより、誘致活動を可能にしました。

その後、自治会と共同で、開発事業者と地権者の協力を得ながら1年半誘致活動に取り組んできましたが、今のところ成果は出ていません。誘致において少しでも有利な条件にするため、地区計画の店舗の床面積を、現行の最大1,500平米から3,000平米へ引き上げることを検討しています。この規制緩和が店舗誘致につながることを期待しています。

問 食品スーパー跡地への出店の希望の声を聞いているが、市長のお考えは。

答 (市長) 規制緩和の方向で進めていますので、それに合致する形で出店していただけるなら非常にありがたいことだと思います。これからも規制緩和に向けて力を注いでいきたいと思っています。



佐伯 欣子 議員
(清流会・かさいを育む会)

将来を担う加西市民、住民のために



市長施政方針について

問 主要な政策の1つである「農業の再生と活性化」について、市内に道の駅のような、農産物販売の場所が必要では。

答 市内にはかさい愛菜館のほか、ブドウの生産者直売所などがあります。愛菜館の会員である生産者も多く、順調に売上げ、来客数を伸ばしていますが、午前中で売り切れて午後には商品が少なく、農産物を追加搬入する生産者がいない状況が続いています。販売箇所を増やしてほしいという要望は聞いていますが、それよりも、生産者の高齢化や後継者不足

への対応、生産者確保に重点を置いた施策を進めたいと考えます。

問 市外からの関係人口を増やすためにも、農業市として、市の農産物を重点に置いた販売所を設ける施策が重要では。

答 ブドウやイチゴなど生産農家が設置する直売所のマップを作成し、市内外から購入を希望される方に来ていただけるよう取り組んでいきます。

学校再編について

問 加西市ならではの小中一貫教育について。

答 これまでも、小中一貫教育や小中連携により学校間交流を進めていますが、さらに充実させていきます。また、近隣市等で進めている小中一貫教育のメリットを吸収していこうと考えています。加西の教育3本の矢、加西 BASE・STEAM・GLOBAL を

中心に据え、学力の向上と中1ギャップの解消、教職員の指導力の向上等を主なテーマとし推進していきます。

問 小規模特認校についての市の考えは。

答 小規模特認校や小規模学校を望む声は大きくないと受け止め、設置は考えていません。

問 (仮) 泉統合小学校整備の今後について。

答 宇仁小学校の統合の結論が間に合わない場合も、いつでも4校が一緒になれる受皿を用意していきます。2月の3者協議では、子供たちが非常に不安な状況となっているため、3月までに答えを導き出し、4月に一緒に準備委員会に入っていただくことが可能であれば、その方向で進めることとなっています。今後の状況を見定めながら進めていきます。



森元 清蔵 議員
(清流会・かさいを育む会)

庁舎の増築は必要ない



問 12月議会で否決した庁舎増築委託料を、その後何もせずになぜ再度提案してきたのか。

答 (市長) 前は説明不足でした。市民サービスの向上、業務の効率化の面で、当然、議員に理解いただいていると思っておりました。一日でも早い整備により、市民の利便性の向上、窓口のプライバシーの確保、また防災体制の確保、業務の効率化を図っていきたいとの思いからです。

問 何のための増築か。職員はどう感じているか把握されたのか。

答 (市長) 業務効率、市民サービスの向上のための増築です。職員の声を聞いたのは当たり前です。

問 増築ありきではなく、業務の見直しや、市民の不便をどのように改善するのか、また、将来のデジタル化を考えた上で、増築するかどうか判断すべき。将来見直しを検討されたのか。

答 (市長) 電子化されても相談業務はなくなりませんし、電子化もここ数年ではできません。庁舎を増築し、まずは利便性の向上、市民サービスの向上です。次に業務の効率化、防災対策の充実です。

問 今後多額の支出が必要な中で、まずこの35億円を使うことに市民は不安感を持つ。市民の合意が得られると判断している

のか。

答 (市長) 財政見通しは明確に示しており、今後も安定的な財政運営ができるというもとに進めています。

問 こども家庭センターは、使う人たちの利便性を考えてつくるべきだ。庁舎を増築してつくるのか、健康福祉会館で増築してそれらの機能を統一してやっていくのか。場所からして利用者の気持ちを聞いて考えていくべきではないか。

答 (市長) こども家庭センターの業務を担う地域福祉課は、相談以外にも窓口業務が多くあります。現状の施設のままで相談室を確保して健康福祉会館へ統合すると、窓口が分散してしまい不便になります。こども家庭センターは、熟慮した結果、ここしかないという認識です。



土本 昌幸 議員
(公明党)

将来人口と大型事業について



問 第6次総合計画の推定人口は2045年で3万706人と見込まれています。将来人口を見据えた大型事業の考え方と進め方をお聞きます。市庁舎の増築、総合運動公園、陸上競技場、体育館等の建設意義について説明を求めます。

答 (市長) 人口推計は、ほぼ当たりますので、これを上回るために大きな事業をしないと人口を維持できないと思っています。庁舎の増築は利便性確保の視点です。また、総合運動公園とい

たスポーツ施設は大きく活力を生むと考えます。そして、学校統合では施設が充実します。人との関わりも重要ですが、統合によりさらに集中した整備ができます。その跡地を利用することができます。

加西市はスポーツ大会ができる施設がなく、市民のスポーツに対する評価も低いと思います。また学校統合も、教育に熱心な市だという評価もあり、非常に重要だと思っています。ソフト事業だけで人口増は望めません。選ばれる市となるよう、大型事業は財政規律を守りながら実施したいと思っています。ただし、5年以上かかるため順次整備をし、住みよい加西市を目指して人口を確保していきたいと思っています。

問 現在、子育て支援の目玉政策である5つの無料化です

が、市長の発言もありましたが、少子化対策は本来、国が行うものと思います。先行して加西市が実施しており、その中でも給食は最もありがたい支援です。市長は「財政が許す限り」やりますとのことですが、国が行うまでは継続すべきだと思います。

庁舎増築等を含めて執行者から丁寧な説明がありました。ただ、市民からの意見を聞くことも含めて、提案もするし意見も聴く、これが大切だと思います。市長の決意をお聞きます。

答 (市長) 市民の意見を聴き、市民と共に市政を歩んでいきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

■その他の質問項目
・市長施政方針

議会のハラスメント対応

1 議員による職員へのハラスメント事案の総括

ハラスメント事案の発覚から、ハラスメントを行ったとされる議員への聞き取り調査及び嚴重注意、並びに議会運営委員会のインターネット中継及び議会ホームページへの掲載を通じた事案の内容や対応、今後の方針などについて市民へ速やかに報告しました。

しかしながら、ハラスメント行為の事実確認は行ったものの、その行為に至った原因や背景を究明するまでに至らず、また、議会による職員への直接の聞き取り調査が実施できず職員の気持ちを汲み取った対応が十分にできませんでした。最終的には、当該議員からの謝罪文を職員に渡すことで、一区切りとなりました。

市議会としては、このような対応の反省に立ち、万が一事案が発生した際の迅速な解決に向けた行動方針を定めるために令和6年1月11日から議会運営委員会においてハラスメント防止条例の制定について協議を行っていくとともに、再発防止の取組として令和6年2月15日にハラスメントに関する研修を実施して議員の意識改革と倫理感の向上を図っていくことにしました。

※ ハラスメント事案に対する議会の取組経過の詳細については、
QRコードからアクセスしてホームページをご覧ください。



2 ハラスメント防止研修の開催

令和6年2月15日に、議会における健全なコミュニケーションと、より良い環境づくりに向けた取組の一環として、議員を対象としたハラスメント防止研修を実施しました。

「議員によるハラスメントの防止について」と題し、弁護士である講師よりハラスメントの定義や防止方法等について、事例の解説も交えた講義を受けました。意見交換や質問も活発に行われ、全議員がハラスメントの防止について理解を深めました。

議会として、職員や議員が安心して働き、協力し合うことができる環境づくりに努めます。



閉会中の委員会開催報告

閉会中の所管事務継続調査事項について、建設経済厚生常任委員会と総務常任委員会それぞれの委員会から要求していた資料に基づき、調査を行いました。
主な審議の内容は次のとおりです。

建設経済厚生常任委員会 2月5日(月)

- ・福祉部所管
こども家庭センターの設置
- ・産業部所管
ビジネスグランプリのエントリー状況
- ・建設部所管
加西インター産業団地2期工事
- ・環境部所管
水道管の耐震化の現状と更新計画
- ・加西病院所管
今後の診療体制

総務常任委員会 2月14日(水)

- ・政策部所管
加西市情報伝達システム
- ・地域部所管
整備予定のスポーツ施設
観光資源の磨き上げと掘り起こし
- ・総務部所管
庁舎増築に係る基本構想・基本計画
普通会計財政収支見通し
- ・教育委員会所管
小中学校再編方針

令和5年度 政務活動費収支報告

議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として、議員1人当たり年額10万円を会派に対し政務活動費として交付しています。なお、残額は年度末に返還します。政務活動費収支報告書・調査研究実施報告書・領収書等の資料は、市役所1階総合案内横の専用カウンターおよびホームページにおいて常時公開しています。
(単位：円)

会派	交付額	支出済額		残額	執行率	支出項目					
		政務活動費	自費			研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費
清流会・かさいを育む会 (6人)	600,000	302,860	0	297,140	50.48%	0	302,860	0	0	0	0
改革未来・自民の風 (4人)	400,000	109,520	19,600	290,480	27.38%	0	129,120	0	0	0	0
令和新風加西 (3人)	300,000	116,085	0	183,915	38.70%	0	116,085	0	0	0	0
公明党 (1人)	100,000	0	0	100,000	0%	0	0	0	0	0	0
加西維新の会 (1人)	100,000	38,695	0	61,305	38.70%	0	38,695	0	0	0	0
合計	1,500,000	567,160	19,600	932,840	37.81%	0	586,760	0	0	0	0

※ 残額は、交付額から支出済額のうち政務活動費での支出額を差し引いた額です。また、発生した預金利子を加算した額ではないため、収支報告書に記載の残額と一致しない場合があります。なお、発生した預金利子は、残額と合わせて返還します。

公式X（旧ツイッター）で 情報発信を開始！

加西市議会公式Xの運用を開始しました。
Xによる情報発信を通じて、議会の活動や情報をより迅速に、より多くの方にお届けし、コミュニケーションを円滑にしていきます。

フォロー・いいね!のお願い

Xをフォローすることで議会からの情報が受け取りやすくなります。検索していただき、フォローをお願いします。

また、気になる情報がありましたら、いいね!やシェアをお願いします。

公式Xの情報

アカウント名：加西市議会
URL：https://x.com/kasai_gikai

QRコードからアクセス
して登録をお願いします。



※ Xへのログインには、ご自身のアカウントが必要となります。

第1期『加西こども議会』議員募集!

～ みんなの声を未来へつなごう～

開催概要

【1日目】7月23日(火)9時30分～(午前中で終了)

- ①議場見学
- ②質問の作成
- ③議席の決定、模擬議長選挙

【2日目】7月30日(火)9時30分～(午前中で終了)

- ①議場で質疑応答

※ 内容は変更になる場合があります。

募集内容

【対象者】市内在住の小学6年生で両日とも参加できる方

【募集人数】15名(応募多数の場合は抽選)

【募集期間】6月1日(土)9時～6月17日(月)15時

その他

- ・両日とも保護者の送迎をお願いします。
- ・撮影した写真を、ホームページ、議会だより等に掲載する予定にしています。
- ・詳細は市議会ホームページをご覧ください。

市議会トピックス

議員定数等に関する市民アンケート

加西市議会では「議員定数等調査特別委員会」を設置し、議会の在り方と議員の定数について検討しています。このたび、市民の皆様からの貴重なご意見を頂戴し、今後の審議の参考にさせていただきたく、無作為に抽出した1,500人の方を対象にアンケートを実施します。

5月上旬に発送する予定とじていますので、お手元に届いた方は、ご回答をよろしくご願ひ申し上げます。

議会報告「市民との意見交換会」を開催します

日時 5月18日(土) 10時～11時30分

会場 健康福祉会館 2F 研修室

内容 1部 3月議会の報告
2部 意見交換(グループワーク方式)



【テーマ】学校再編、新病院建設、議員定数等

※ 詳細については、QRコードからアクセスしてホームページをご覧ください。

予約不要。多くの市民の皆様のご参加をお待ちしています！

令和6年6月 加西市議会定例会の予定

月日	時間	会議
6月5日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(提案説明等)
6月7日(金)	15:00	発言通告期限(質疑・一般質問)
6月13日(木)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(質疑・一般質問)
6月14日(金)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(一般質問)
6月17日(月)	10:00	本会議(予備日)
6月18日(火)	10:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
6月19日(水)	10:00	総務常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会総務分科会
6月24日(月)	10:00	予算決算常任委員会(全体会)
6月26日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(委員長報告・討論・採決)

請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

6月定例会での取扱いを希望される場合は、令和6年5月28日(火)17時までにご提出ください。

加西市議会ホームページのご案内

議会の日程や議案の審議結果などを掲載しています。

また、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録も見ることができます。

ぜひ、ご活用ください。

スマートフォンでご覧いただく場合は、下記QRコードをご利用ください。



議会中継
(ライブ・録画)は
加西市議会HPへ



発行編集 加西市議会
議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 下江一将
委員 高橋佐代子
委員 橋本真由美

副委員長 西脇親
委員 高見博道
委員 森元清蔵